



此の山は遠く見ゆ
 客路西園の秋
 廿二日の暮
 嵐の秋の暮
 三葉の白太の秋
 秋の暮の秋
 秋の暮の秋



日條大納言之公任

權大納言正二位別當

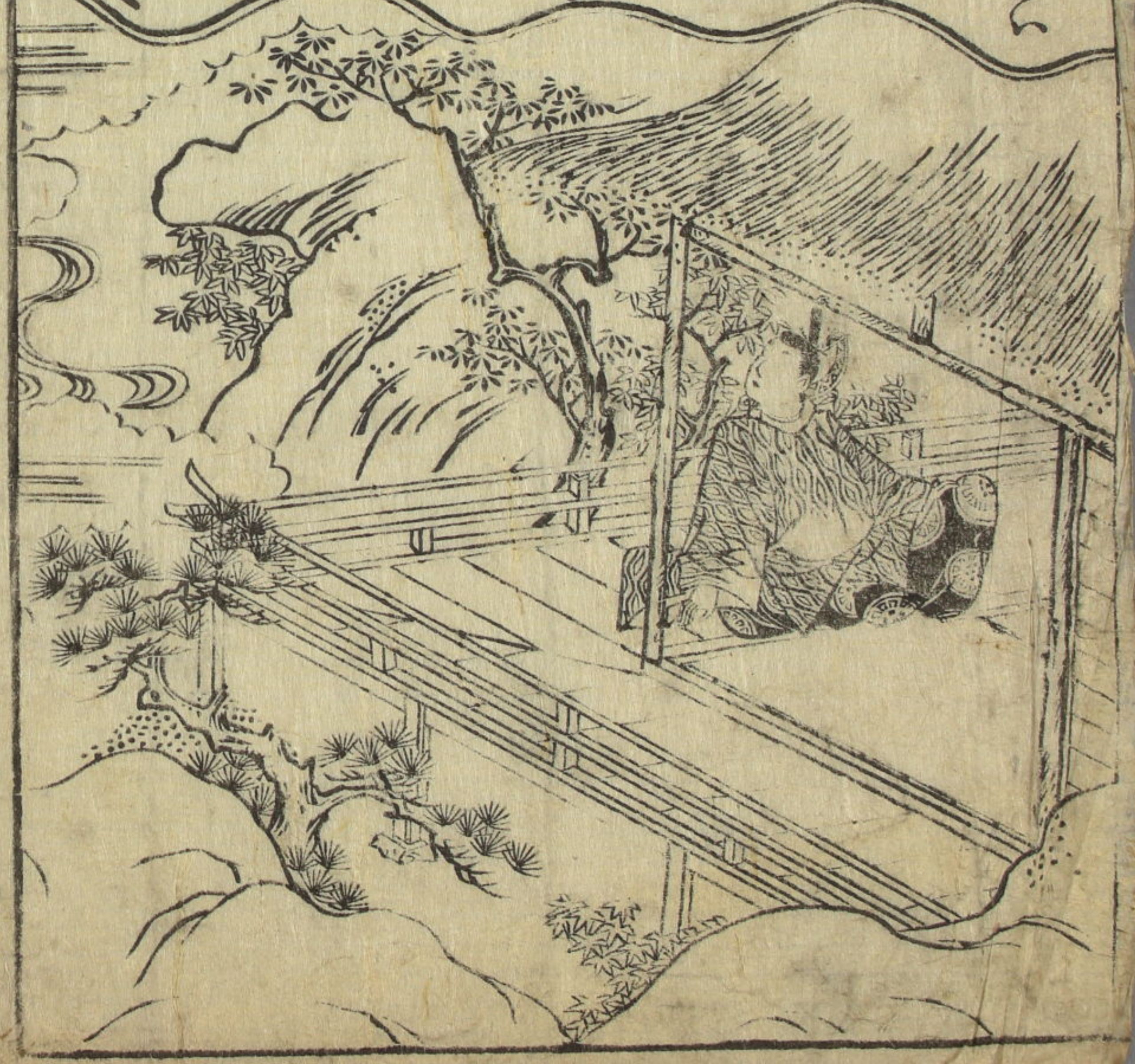
三条關白太政大臣

廉義公頼忠一男

母一代的親王女也

洛陽西洞院の系

公任の古跡之詩



名人林能書の書

於外拾遺集なり也

選み多しなり朗

詠あり先作

不い若倉山乃

小也今よ朗詠

若くは傳くゆり



七宝朗詠目錄

一 五七五八八の續句 并引句

一 唐詩他 雷像

一 中納言他 和言二聖人六方他

一 きんらう故実

一 周公家決分

一 源氏物語平家他 香之馬引方他

一 中行事和歌

朗詠に於て東大納言公任は二条園白

教及公任も天狗にたせし時むこ

よらりたまふいふ小磯の箱へ入ると

選たすより和歌をよみたりつて心い

よの唐の詩をよみたりて志をよ

中納言も法式をよみたりて天武天皇

の御子大侍の皇子御も詩賦を

作りたまひしよわい方世々さうへ

和言と申して凡月のもてあそび

とせり朗詠とよみたりてうさく

古より詩言よりよみたりてうさく

柳枝

和漢朗詠集目錄

春

立春

早春

玄魚

春夜

子日

付若

三月三日

暮春

三月盡

閏三月

鶯

霞

雨

梅

柳

花

躑躅

欵冬カキ 藤フジ ○夏ナツ 更衣ウツリガキ

首夏ウツシヨ 夏夜ナツノヨ 端午ウツヒ 纳凉ナツグシ

晚夏バンナツ 花橘ハナダイダイ 蓮レン 郭公クワクワ 螢ホタル

蝉セミ 扇アヒ ○秋アキ 立秋アキノヒ 早秋アキノヒ

七夕セチヤ 秋真アキノマコト 秋晚アキノバン 秋夜アキノヨ

八月ヤツハチ 十月ジュウグチ 夜月ヨリツキ 九月クニツキ 九月クニツキ 九日クニツキ 首ウツ 九月クニツキ 盡マツル

女房志メウボウシ 萩ハギ 菊キク 蘭ラン 橙ダイダイ 前栽マエガイ 紅葉アキハ

雁カニ 付ツキ 雁カニ 冬フユ 初冬ハツフユ 冬夜フユノヨ 感暮カンボ

爐火ロウカ 霜スミ 雪ユキ 冰ヒョウ 霰セン 佛石ブツイシ

○雜雑 風カゼ 雲クモ 晴ハレ 曉アサ 松マツ 竹タケ 鶴ツル

猿サル 管ケツ 絃ケン 文フミ 詞ジ 酒サケ 山ヤマ

水ミヅ 又マタ 付ツキ 漢カン 禁中キンチュウ 古京コキョウ 故宮コキョウ 宅タク 仙家センカ 隱倫インリン

回家 隣家 小寺 佛事 僧 困后
 眺望 饑乏 行旅 庚申 帝王
 親王 丞相 將軍 刺史 詠史
 王昭君 妓女 老人 交友 懷舊
 述懷 慶賀 祝 憲 無常 白
 和漢朗詠月録終

蕭相八景詩歌
 八景詩或說東坡之
 海内り八百居易之傳
 此給八玉洞之作也瑩王
 洞は南宋の代の詩人
 恵崇と師として習へ
 つ西湖の浄慈寺の
 僧なり圖繪室鑑ふ
 と其傳有日本ま
 らやのふ此人の夏也
 八景の弁はた泉中納
 言為相心ハ他也の相
 心ハ定家等の條も是
 此等の事也面白く
 取に唐の詞に似日本
 古人の詩奇なりと云り

春 立春
 逐吹潜用不待芳菲之候
 迎春先發將布雨露之恩
 池凍凍凍頽風度解窓梅小
 面雪封寒
 柳無氣力除先劫池有波

會馬友

船の系溜る
舟の系溜る

文水盡開

今日不知誰計會春風云

水一時來

白居易

夜向殘更寒磬盡春生香

火曉爐燃

良春通



神ひらしてしるしり水のこちをくると
けりそけいしぬの舟屋とくく拜
まくらせいあしるらにやみりし
まらとくけりさみむる心

圭策

深湘水

早春

先自望江易水清田地蘆雖能春入枝

新泥凍雲粘除柳眼促

元稹

魚梁魚蟹孤先遣和風報消息續教啼

燒盡春殘葉鳥既來由

白

懸紙向竹枝東岸的岸之柳遲速不同

流淚痕南枝小枝梅并落已矣

好小松院

あつたわりの

春小くとも

あつたわりの

あつたわりの

春

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

紫塵爛人拳手碧玉寒

蘆錐脱囊

野田

雲霧風梳新柳暖水清海

洗腐苔鬢

都良香

連増氣色暗破線林表

魁宿雪紅

純細言

いづくのさきへいづのさきへ

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

あつたわりの

春興

あつたわりの

花下忘海國

野草芳菲紅錦地

奇酒家

如河
海人の名を
いふは波の
さびるから
はけ

榮雅

善好
あつては
あつては

あつては
あつては

あつては
あつては

あつては
あつては

あつては
あつては

劉伯若能今日好
應言世處空言何
いふは波の
さびるから
はけ

三月盡

留春不駐
去婦人寐實

狀風不
定風起
華葉雨

竹院君
閑消如
日花其
我解送
弦春

桐收春
函面
齊崇
藤花
不
待
苗
寄

送春不用
動舟車
唯別
詩書
上
落
屯

あ使船
先知
秋意
今宵
枕宿
在
詩
家

兼春
南
開
城
園
花
落
地
風
香
入
雲

あつては
あつては

田三月



善哉 珍勝あり
 けし小橋のきふ
 をわくし人しる
 いれくたわ

今年同在春二月 兼看金後月見

陽彩新 鷺馬申 遠園於 孤雲之 跡

碎林舞 蝶逐 翩翩於 一月之 屯

花悔 汝根 夢盡 鷺馬 朝入 言之 已 延 約

心このころわすれられやハナリ 伊勢

鷺馬

鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬 鷺馬

遠寺晚鐘

雲遮不見梵

又度鐘

聲 祈 晚 風 此

去 上 方 猶 在

心 為 云 只 在 此

山中

誰家碧樹鷺馬啼 西雁暮猶西

幾重又花堂 夢覺珠簾未卷

咽穿山雲啼 當竹穿沙屋 葉葉聲

聖人酒當呼 空水回空 風洗地

鷺馬誘引 木花下 草色拘 因性水色

感同 於相 束離 鳴古 唐 慈春 猶

去 雲 氣 而 絕 混 結 吟 真 誰 付 曉 啼

為兼
世より海人傳
るふふと

まごころ
あかしの鐘

極楽
あまのふりか

あつたゆい
入おのるね

後の松院
あつたゆい

あつたゆい
入相の鐘

あつたゆい
入相の鐘

慈母之神
慈母之神
慈母之神
慈母之神

周郎之籍
周郎之籍
周郎之籍
周郎之籍

新路
新路
新路
新路

あつたゆい
あつたゆい

あつたゆい
あつたゆい

あつたゆい
あつたゆい

あつたゆい
あつたゆい

霞

霞光
霞光
霞光
霞光

横山
横山
横山
横山

あつたゆい
あつたゆい

あつたゆい
あつたゆい

あつたゆい
あつたゆい

雨

雨

雨

岩門
岩門
岩門
岩門

岩門



海の多はれ
入日の宿
いりあふふ
こころみそ
まか

落花

あはれを落すを神樹流るるをいり地
朝露あはれを伴生書也馬一歩油
春花の雨に潤入酣暢之運時當拜
く懐素講誦之座
落花推播風和浪味も防徒反打時
離園風廻馮樞舞下楊姓祖願階也

後江相云

海村夕照

海村夕照
落葉沙吹
礼鶴江白江
水師直艦
舟も實酒
後外者風
年秋毛

鄰端

さうらうらこのまごうせはさむし
うらうらにまらぬゆきをありけり
や乃り乃り乃りのやほくらあう
このはらうらうらうらうらうらうら
晩雲尚用紅線端秋房初結白雲
あはれ人秋物来祀寒食家夜折心
あはれいりりりりりりりりりりりり
秋毛

二

十四

まつあさころ
あーへのとも
にさうはれて
うらゆかり
もまたたか
なり



幾頭竹葉集著熱障度蓋入夏用
若生石面雅衣冠行止池心小る疎
まうやこあささ紅やけかぬへう心
な川さうふらりとみおるこれいふ頃

交ぬ

風吹枯木晴天雨を懸まゆ夏夜露
風生竹葉集著熱障度蓋入夏用
を夜寒閑堂序漢法史初月物初

平沙落雁

古字書室漢

墨横紫約秋

鷹下寒河盧

花錯化漸陽

雪誤向斜

陽嗽凍翎

な川の秋とねぬよ阿香ねといひと行
あふの曲とや行れさうりきじ人丸
かきこさうすあささこれうーうのこ
ひりりいわれいあーう初つて
あふ乃東ハゆさうせすれと初云
なうんさうさうはくたのの

端午

有暇當之危身立無意故園但脚以
まのこまましきあふあひらうやめさ
いひさうさうやまうるるうん
きこのぬまうさうにたひりやめさ
くふさうやれはにせなうり式

儲光義



王昌齡

きうんそにまうすり何きせうせりれを
たひいぬるもわしとせりり小

秋 之 煉

蕭颯涼風与寒蟬雜教計會一時煉
鷄漸散同秋色水聲響越廣境
也たぬとせむにさやにみく練とも
うらいつき小物我らけきこの景ら
りきけいれいとせふとせせりくち

早 煉

出處

韋應物



劉長卿

但喜暑隨三伏去不知秋送二毛來
槐花白洞新秋地桐葉因涼多
笑系剩衣尚重晚涼清到菊
秋きらそいらくとあぬとみ練わ
何ものせいぬとすとすし

七夕

憶得少年長乞巧竹竿
二星遙逢未叙
の緒依之恨

韓愈



柳宗元



五更的頻驚寒風在
露應別淚珠之
風正此夜
玄衣與浪震
詞託激
あまのれ
うかん
むら
あひみ

劉禹錫



白居易



秋興
林間煖酒燒紅葉
楚思幾
大庾
物色
由來
あまのれ
うかん
むら
あひみ



靈徹

寒山

葛藤州裏流舟及檣柏葉以方里ん
 一ひきりやましらけよあふんこの
 あくしり法者しらもねじん
 しりまのまこつさぬくにあきこり
 りしあきこのあしりぬよき道
 八月十五夜 付月
 秦旬之一千餘里涼く氷鋪漢家
 卅六宮澄く杉佛織錦帳中
 相思之字拂衣石上俄に怒あす得



林逋

邵雍

三五夜中新月多三子重あ故人心
 嵩山春裏千重雪流氷高位支顆珠
 十回半勝於苦多好号外各表替歌之光
 碧浪金波之天初秋風汁云以心志
 自疑河素欒霜号人道苦記過更
 岸向逐迷松上黏源絶の舞舞深中魚
 瑶池便是初常号世舞清明玉不

梅堯臣



蘇舜欽



項陽修



蘇軾



金膏一滴秋風落玉運三更冷澹雲
揚貴妃歸唐帝思孝文人金漢里情
みい乃其ふてる月なるはめりかれ
こいいとあさのしむるりけり頃

月

誰人既久征我何事
秋江漲來船去速夜雲收
不醉野中草去得摩圍
存正意

天山不辨何年雪合浦夜連唐月珠
欲和之廣鐘鼓否之奈華亭鶴敬
鄉波數の江戎老揮研一曲釣漁翁
あまのれを舞あらしけられのすの形
みくこれやしらすの月も
あつらふふらねらちのりどあふれ
あすくくみねるあさの秋の月
いふねもさハリのきり
九月 付載

九月

付載

中七五

黃庭堅



陳師道



鷲如社日祥集三菊為靈陽昌之圖
採在事於漢氏則赤草採官公衣
尋屬跋於魏文之黃屯助喜社
先之運者吹之花如腰星之鴨河
了十方平湯之秋疑秋霜之洛川
谷米沈花以流而の上者者卅餘
地脈探冷自精駐年記者六百箇身

陳與義



曾幾



菊
いづりなとけきくろとくしそふに
霜運老鬚二分白菊葉新老色黃
不疑花中悔愛葉也出後更愛花
尚陰欲暮契松栢之後凋
秋景早移啣芝蘭之先散
鄆縣村同客同屋同家同子亦同書

六舟仙



お見立ちへし... 暫色よ... ちりせハ
あもれく... 何たりか... ちや... ぬくま... 魚屋
とみれ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
い... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...

萩

曉露... 秋の... ね... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...

蘭

前頭... 枝... 落... 凝... 曲...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...
あ... ちり... ちり... ちり... ちり... ちり...



不堪紅葉青苔地又是凉風言及之

昔須彌林有紫瓊瑤水滄海風

洞中清淺瑤瑤水滄上雲珠錦繡林

外物世離松洞多餘波合力錦江舞

落葉

...

...

三秋而富漏區長空階多清

万里而鄉園何處為家定深

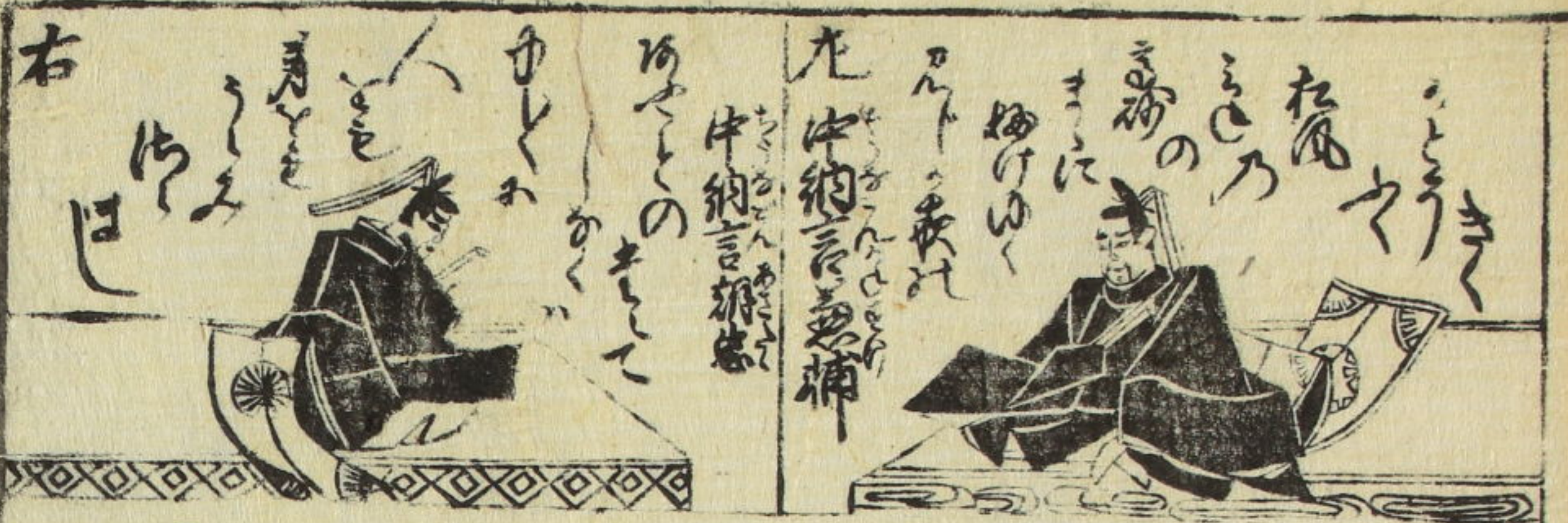
秋夜不拂樓外深林踏梧樹寒露

城柳交相漫搖落秋悲不盡人心

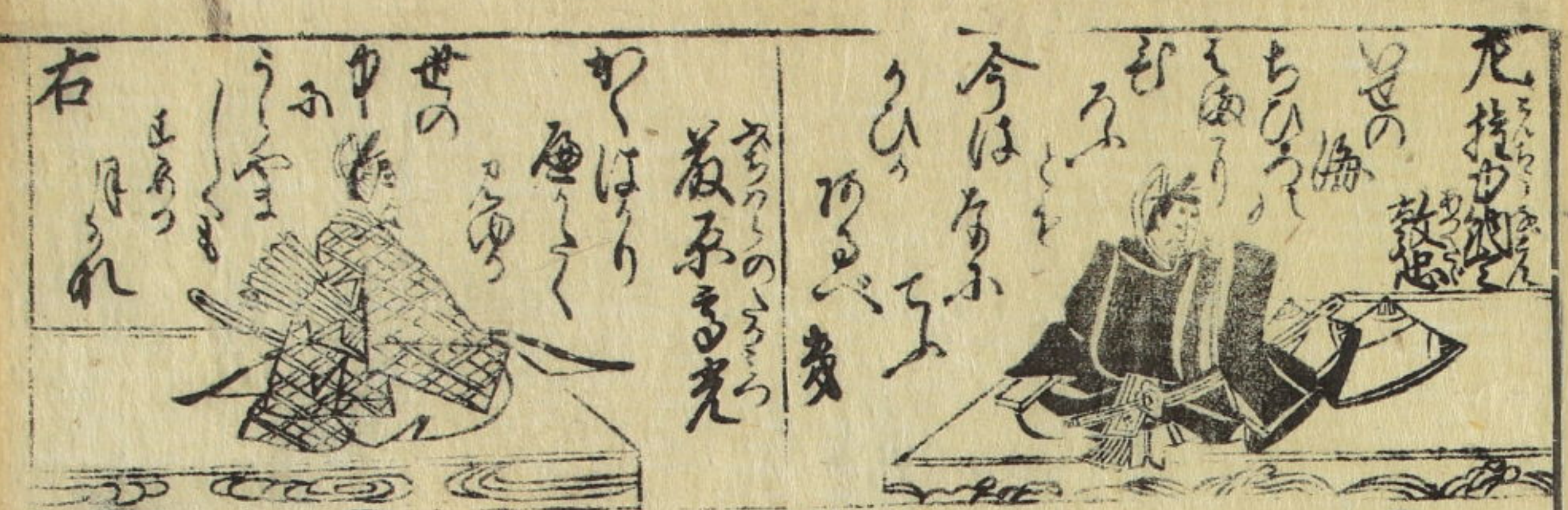
梧樹秋中一夢之西定傳鷓鴣

岸上數行之紅澗殘

雄雞生及杖寒朱實信衣

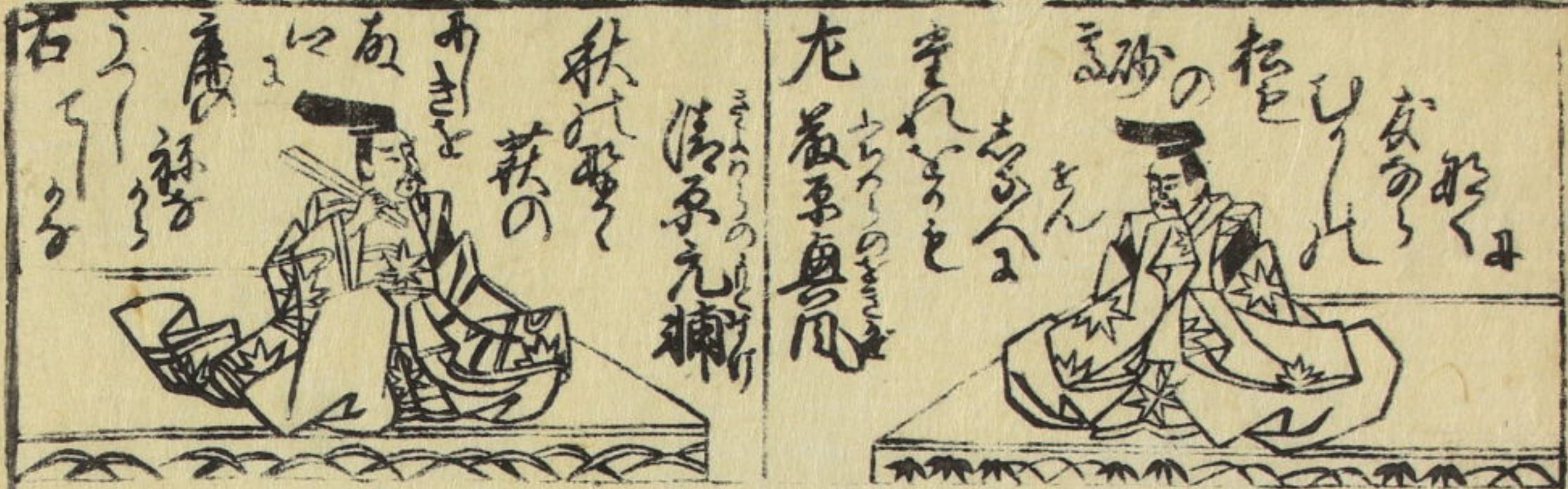


鹿
 蒼苔路清僧道寺寂聲野鹿林
 暗遠食草身之變受地が海濱風來
 しみらをぬ考ら盤乃心ふすけハ
 どのれるさきこや秋とあらん
 けふつくよとてこれ屋にありん
 ともうらやあさこ
 露
 可憐九月袖衣露以真珠月似弓



霧
 竹葉時新拾遺存頼風暗送江去
 唯愁夕霧埋人枕松花朝去生馬鞠
 あさここの物とやとこめてさちぬさくら
 うらぬ我秋乃十月ハみ冬けの深養
 さうのうたのうきなれかこころ
 右

霜



三秋序霜花初白一色林彩葉有紅
万物秋霜社壇色同耐冬日寂凋
困寒夢教或法孤烟之悲山深
君于夜深喜露先秋晚晴
おろく己新花を霜歩く初踏の鳥居人

紀納言



晨積瓦海鳴鼓色夜寒初春鶴吞群
雪

曉入梁主一莞雪海春
夜宅度公一梅反的く
銀河沙漲三子男極空用一
雪似鵝毛非散初初驚五化個



右 中 勢
 秋 風 の 吹
 右 勢 見
 云 生 忠 見
 慶 牙 牙 敷 聲 之 脱 新 領 珠 投 願 之 意
 佛 名
 胡 塞 雅 雅 全 伴 之 澤 沱 還 恐 之 控 志
 霰



九 平 勢 盛
 右 中 勢
 秋 風 の 吹
 和 漢 朗 詠 集 上
 初 穴 注 拂 心 實

古漢語彙集上

七

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

